

農業用中古トラクターを 発展途上国を始め全世界に輸出

須磨産業

時代の流れと共に増加してきた農業離れや政府の減反政策のため、不用になったトラクターを整備し直して、諸外国に輸出しているのが「須磨産業」(三木市志染町)。日本製品の性能の良さに加え、若き菊谷勇社長の誠実さに多くの外国から信頼が寄せられ、評判になっている。たぐさんのトラクターに囲まれて、女優の藤田美保子さんが、菊谷社長と創業者である父君にいろいろお話を伺った。

誠実さが取引先との 信頼関係を強くして

藤田 たぐさんのトラクターですね。
菊谷 今、ここには千七百台くらい置いていますが、あその他の場所に四五百台くらいあります。
— どんなお仕事をされているのですか？

菊谷 農業用の中古トラクターを外国に輸出しています。東南アジア、アフリカ、中近東などが多いですね。農業にトラクターは必需品ですから。日本は政府の減反政策に加えて、農業人口の減少に伴う農業離れが進んで、まだ十分使えるトラクターなどの農業機械を手放す人が多いんですよ。

— 仕入れは？

菊谷 中古トラクターを売りたいという情報があれば全国各地でもトラックで出向いて仕入れて来ます。もちろん事前に



菊谷 勇社長 / 藤田 美保子(女優)

機種や状態を調査してから判断していますが、ここに持ち帰ってから、すぐ使えるようにきっちり整備するわけです。
— 外国のバイヤーが、直接こちらに来られるのですか？

菊谷 毎日のように、何人かずつ来られますよ。ここに来れば農業機械の良いの

すれば相手も信用してくれるもんです。

— 向こうで故障した場合は？

菊谷 日本製は元々性能がいいから、そんなに故障しませんが、必要なときはこちらから部品を送ります。

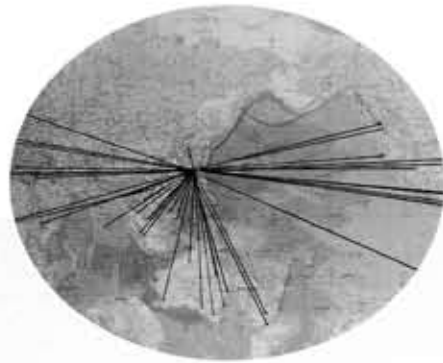
多くの人の協力を得て 高性能の機械を安く

— 同業者は少ないと思えますが、いところから始められたのですか？

菊谷 全国でみても数は少ないと思えますよ。私のところは二十年前に父が始めました。今は身内だけでやっています。必要以上の気を使わなくていいし、結果も固くて満足しています。

— よく、このお仕事に着目されましたね。

父 私は昔、北海道で北洋漁業船のエンジンの修理をしていたんですが、漁業が不振になってきたので神戸に移ったんで



▼全国から集められた中古トラクターが修理・整備されて諸外国に輸出される



「よく、このお仕事に着目されましたね」と藤田さん

が安く手に入る、という情報が外国の間では評判になっているようです。実際、日本製品は本当に性能がいいですからね。そのうえに価格も新品の十分の一〜二十分の一で手に入るんですから……。
— でも、買う側にとつては、やはり高価なものでしょうね。

菊谷 個人で買われるのはかなりお金持ちの方だと思いますよ。それと、あとは政府関係の方です。個人と政府関係者の比率は半々か、個人の方が少し多いかな、という感じです。

— 代金の支払方法は？

菊谷 機械が到着後、外国から振り込んでもらいます。商談が成立しましたら、

ここで四十五フィートコンテナに積んで神戸から直接出します。相手国に届くまでに一ヶ月前後かかるんです。それからの振込ですから、早ければ一ヶ月後、遅ければ三ヶ月後くらいに入金されることになりました。

— 心配ではありませんか？

菊谷 心配がないといえればウソになりますが、信用しませんとね。こちらが信用



「20年前、農村では減反政策で機械が余ってきており、これをうまく循環できればと思ったのが、この仕事を始めたきっかけです」とお父さまの守氏



「全国でみても数は少ないと思えますよ」と菊谷社長

— 将来の夢としては？

菊谷 中国とロシアを相手に売りたいと思います。なかなか買えないので、わが社の売り上げも急上昇すると思っています。

— ぜひ頑張って夢を実現して下さい。